

劇団 芸優座のご紹介

劇団芸優座は、「青少年にだからこそ最高の演劇を見せたい」という理念のもと、1972年に創立されて以来、全国のホール・会館をはじめ、文化庁の助成公演、公文協自主事業、教育委員会、小・中・高校の芸術鑑賞教室等での公演を、『演劇は、まず面白く、確かなテーマで観客と共に創造する』をモットーに、精力的に活動してきました。18歳から85歳まで各世代にわたる劇団員・研究生およそ60名が共に日夜研鑽に励み、今年12作品のレパトリーを展開しています。



知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業 —巡回公演事業—

劇団 芸優座 公演

～O.ヘンリー物語～

最後の一片

脚本／平塚 仁郎 演出／村田 里絵



「文化芸術による子供育成推進事業 —巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



おーものがたり
～O.ヘンリー物語～

最後の一葉

ひと は
(2幕2場)

げんさく
原作
きやくほん
脚本
えんしゆつ
演出
おー
O.ヘンリー
ひらつか
平塚 仁郎
むらた
村田 里絵

第一場 公園にて (第一話「心と手」)

少年ボブは小遣い稼ぎに、暗い感じの青年アーノルドの大きな旅行カバンを持って駅まで案内していたが、もうヘトヘト。そこで公園のベンチで暫く休むことにした。そこへ粹な身なりの青年と風采の上がらない中年の男がやってくる。なんと二人は手錠で繋がれていた。通りかかった都会的な女性が、突然青年を呼び止める。どうやら何か深い事情がありそうで、しかも中年の男までも割り込んできて……



第二話「愛の使者」

再び駅へ向かおうとすると、偶然アーノルドが三ヶ月前に捨てられたばかりの恋人が通りかかる。二人の間で右往左往する羽目に陥ったボブは……

登場人物

第一場 公園にて

第一話「心と手」

第二話「愛の使者」

第二場 ボブのアパート

第三話「賢者の贈り物」

第四話「最後の一葉」

えき いそ きやうだい ほ あんかん
駅へ急ぐ兄弟たち/ボブ/アーノルド/イーストン/保安官

フェアチャイルド/リタ/エルジィ/通りがかりの勤め人

ジム/デラ

スウディ/ジョンジー/ベアマン/フリッツ/医者

かんごふ きやうさいん じゆうにん
看護婦/救護員/アパートの住人たち

第二場 ボブのアパート (第三話「賢者の贈り物」)

「芸術の村」と呼ばれるボブのアパートには、貧しいながらもユニークな住人が大勢住んでいた。評判の仲良し夫婦ジムとデラは、クリスマスが近いので、お互いにプレゼントをどうしようか悩んでいた。ジムは妻が美しい髪を自慢にしているのを知っており、デラは夫が父の形見の懐中時計を大切にしていることを知っており……

第四話「最後の一葉」

ボブの姉のスウディは同じアパートの絵描き仲間ジョンジーを看病していたが、彼女は窓から見える蔦の葉が、全部落ちたら自分も死ぬのだと信じ込んでいる。医者も匙を投げるような有様だったが、クリスマスイヴの晩、三階に住んでいる画家ベアマンがそれを知って……



よんさくひん とど げきだんげいゆうざ
四作品をオムニバスでお届けする劇団芸優座の

「最後の一葉 ～O.ヘンリー物語～」

じやうえんじかん ぶん きゆうけい ぶんふく
上演時間/100分 (休憩10分含む)

たんぺん めいしゆ おー みごと がえ
短編の名手といわれるO.ヘンリーの見事なまでの「どんでん返し」
の数々をお楽しみ下さい。

〒182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4

Tel.042-489-4555(代) geiyuza@mri.biglobe.ne.jp

げきだん げいゆうざ
劇団 芸優座

劇団 芸優座のご紹介

劇団芸優座は、「青少年にだからこそ最高の演劇を見せたい」という理念のもと、1972年に創立されて以来、全国のホール・会館をはじめ、文化庁の助成公演、公文協自主事業、教育委員会、小・中・高校の芸術鑑賞教室等での公演を、『演劇は、まず面白く、確かなテーマで観客と共に創造する』をモットーに、精力的に活動してきました。18歳から85歳まで各世代にわたる劇団員・研究生およそ60名が共に日夜研鑽に励み、今年も12作品のレパートリーを展開しています。



知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和4年度

文化芸術による子供育成推進事業

—巡回公演事業—

劇団 芸優座 公演

～O.ヘンリー物語～

最後の一葉

脚本／平塚 仁郎 演出／村田 里絵



「文化芸術による子供育成推進事業 —巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



～ O.ヘンリー物語～

最後の葉

(2幕2場)

原作 O.ヘンリー
脚本 平塚 仁郎
演出 村田 里絵

第一場 公園にて (第一話「心と手」)

少年ボブは小遣い稼ぎに、暗い感じの青年アーノルドの大きな旅行カバンを持って駅まで案内していたが、もうヘトヘト。そこで公園のベンチで暫く休むことにした。そこへ粋な身なりの青年と風采の上がらない中年の男がやってくる。なんと二人は手錠で繋がれていた。通りかかった都会的な女性が、突然青年を呼び止める。どうやら何か深い事情がありそうで、しかも中年の男までも割り込んできて……



(第二話「愛の使者」)

再び駅へ向かおうとすると、偶然通りがかったのは、三か月前にアーノルドを捨てた恋人だった。二人の間で右往左往する羽目に陥ったボブは……

登場人物

第一場 公園にて

第一話「心と手」 駅へ急ぐ兄弟たち/ボブ/アーノルド/イーストン/保安官
第二話「愛の使者」 フェアチャイルド/リタ/エルジィ/通りがかりの勤め人

第二場 ボブのアパート

第三話「賢者の贈り物」 ジム/デラ
第四話「最後の葉」 スウディ/ジョンジー/ベアマン/フリッツ/医者
看護婦/救護員/アパートの住人たち

第二場 ボブのアパート (第三話「賢者の贈り物」)

「芸術の村」と呼ばれるボブのアパートには、貧しいながらもユニークな住人が大勢住んでいた。評判の仲良し夫婦ジムとデラは、クリスマスが近いので、お互いにプレゼントをどうしようか悩んでいた。ジムは妻が美しい髪を自慢にしているのを知っており、デラは夫が父の形見の懐中時計を大切にしていることを知っており……

(第四話「最後の葉」)

ボブの姉のスウディは同じアパートの絵描き仲間ジョンジーを看病していたが、彼女は窓から見える蔦の葉が、全部落ちたら自分も死ぬのだと信じ込んでいる。医者も匙を投げるような有様だったが、クリスマスイヴの晩、三階に住んでいる画家ベアマンがそれを知って……



四作品をオムニバスでお届けする劇団芸優座の

「最後の葉 ～ O.ヘンリー物語～」

上演時間/100分 (休憩10分含む)

短編の名手といわれる O.ヘンリーの見事なまでの「どんでん返し」の数々をお楽しみ下さい。

〒182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4

Tel.042-489-4555(代) geiyuza@mri.biglobe.ne.jp

劇団 芸優座